

発行責任者 自由民主党公認 藤沢市議会議員 北橋せつお

〒252-0813 藤沢市亀井野1-10-13 栄湯湘南館 TEL・FAX 0466-77-9249 E-mail info@setsuo.jp

Web <http://www.setsuo.jp>  北橋節男事務所 (<https://ja-jp.facebook.com/setsuokitahashi55>)

市議会本会議にて初の一般質問

2015年9月16日。藤沢市議会本会議にて、大きく3件の質問をいたしました。

通告10番 北橋 節男

■1件目、防災・災害対策について

要旨1として、8月17日に亀井野1丁目で発生しました竜巻被害について。事前情報並びに情報収集・市民周知はどうかされたのか。翌日の気象庁による調査結果はどうなったのか。続いて亀井野1丁目に被害が集中したが、被災者の支援と市の対応はどうか問いました。私も被害にあったことでもあり、被災者の不安な気持ちと経済的負担は共通の課題です。大きな被害だけの保証となりましたが、地震・津波だけではなく、突然の風水害に対しての備え・支援を万全にすることが、市民の安心感につながると考えます。

要旨2として、湘南藤沢の風水害対策について、とくに北部地域の取組みを強く要望した。そして交通機関の災害時における対応を聞いて、私鉄・JRとの協力連携をしに再確認しました。帰宅難民問題や水害避難所など、常に更新する必要を訴えました。

■2件目、学校・家庭・地域（三者連携）について

要旨1として、学校を核とした地域づくりの展望を聞きました。学校長・PTA・おやじの会・自治連・青少協・社会福祉協議会・民児協など、地域に合わせて様々な団体が各種事業を行って、子供たちを見守り育てる。この三者連携事業は、六会でも学園都市むつあい協力者会議が学校間交流を企画実施しています。今後も市内15地区で地域に合った事業を展開するとの、吉田教育長の答弁を戴きました。

■3件目、北部地域の振興策について

要旨1として商店会と都市農業のネットワークを聞きました。亀井野にある「わいわい市藤沢店」の利用状況と、その賑わいを地域に広げるための近隣商店会との連携を進めるべきと質問しました。今までもねぶた祭りや藤沢養護学校に関わっているとのことですが、高齢者や渋滞緩和のためにも、善行・六会をつなげるシャトルバスなど検討するべきと訴えました。また農家の高齢化・後継者不足への対策や、荒廃地・耕作放棄地問題で、市民農園や一般市民への貸出・指導など検討するに値すると訴えて、農業・商業の振興策を進めることを要望しました。

初めての一般質問でありましたが、地域の振興策について訴え続けるとともに、子供たちを見守る安心なまちづくりや、災害対策のさらに進める安全な藤沢市を目指してまいります。よろしく願いいたします。



新春のつどい 開催

日時：2016年3月6日（日曜日）10：00～13：00

場所：栄湯湘南館（藤沢市亀井野1-10-13）
FAX 0466-77-9249

会費：1,000円（当日集めさせていただきます）

新春のご挨拶・市政報告を予定しています。餅つき大会も行います。

おおよその人数確認の為、FAXや郵便等でお知らせ頂けたら幸いです。

地元の方同士の交流の機会になればと思います。お誘いあわせの上、ふるってご参加ください。



第10回全国市議会議長会研究フォーラムin福島

開催日 2015年11月18日(水)・19日(木)

藤沢市からは、自民クラブ藤沢の4名が佐藤議長と脇田事務局長に帯同。全国の市議会議員と交流できる機会でした。

日程1日目。東日本大震災から4年半が過ぎ、まだまだこれからの事を深く考える貴重な研修となりました。復興事業といえば、国の財政や一般ボランティア活動が目目されてきた印象。その中で地方市議会の役割は、現状と課題を当事者から把握することに大きな意味があります。多くの被災地の状況を見てこられた五百旗頭氏のお話により、地震・津波・台風・水害・原発など、日本中が対象としている防災行政は、地方行政と市議会の役割が極めて重要との思いが新たになりました。

パネラーからのご意見では、被災地と国行政との温度差・スピード感の溝が埋まらない現状に関する内容。まだまだ復興途上でありながら、国行政からは次々と別の施策が打ち上げられているというご指摘もありました。

特に東京大学公共政策大学院教授の金井利之氏は、地方創生の課題と議会の役割を重要視して、経済政策ともつながる「まち・ひと・しごと創生」への自治体の対応について多く語られ、他のパネラーも同様の課題を上げられました。

日程2日目。課題討議では、陸前高田市・気仙沼市・南相馬市の議長による、それぞれ現場からの報告。陸前高田市の伊藤議長からは、市庁舎水没による災害対策本部機能喪失の取り組みや議会活動経過、中心市街地のかさ上げ工事について。気仙沼市の熊谷議長からは住宅再建・産業再生の困難さについて。南相馬市の平田議長からは、仮設住宅における多数の住民対策と、放射能との戦いのまだ始まったばかりという内容。

まとめとして、市民の要望との合意形成、国・県の復興計画の伝達、議会事務局が正しく法律対応の3点が共有され、これからは仮設住宅からの卒業ときめ細かい住民要望の吸い上げが、市議会に求められる重要な役割であると確認されて、2日間のフォーラムを締めくくり、閉会といたしました。

今こそ、二代表制としての、首長・市行政と対決していく市議会と議員それぞれの意識のあり方について、再認識する良い機会になったことを北橋の感想として、付け加えさせていただきます。



その他の活動



▲六会地区防災訓練に参加



▲第58回藤沢珠算競技大会のお手伝い



▲子ども文教常任委員会で兵庫県川西市役所に視察



▲第32回防犯市民のつどい。地元でコツコツとパトロールを続けてこられた方々が数多く表彰されました。



▲12月 藤沢駅前街頭演説



▲12月議会 介護士、ICTに関連して質問